



2026年 新春号 NO.82

発行所

NPO 法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

URL <https://oinanyo.com>

## おいなんよ合同新年会 2/20(金)

場 所 伊賀良公民館

内 容 ふるさとのことば「飯田弁」

講 師 井上伸児氏 (方言研究者)

個性が無くなってきた方言だが聞かたび懐かしさを感じる。

方言は心のよりどころでもあり。故郷をしのぶコミュニケーションであり。語り方がほんわかと温かな飯田弁の哀愁を感じました。

“ふるさとの言葉を大事にし、この飯田を大事にしなければ”と講師の方の言葉が印象に残りました。では、あばな。



講演後、各管理者から「一年を振り返る」の感想と思いの発表がありました。各事業所に共通したことは、いろいろなご家庭の事情を加味し、ストレスの軽減等に対応しながらチームワークの必要性を説いていました。五人の管理者たちの発表も上手になりました。



おいなんよを支えて下さっているボランティアさんです

別家の高橋さんです。  
調理から絵手紙指導へ



別家の見波さんです。機敏な動きと奇麗好き!!

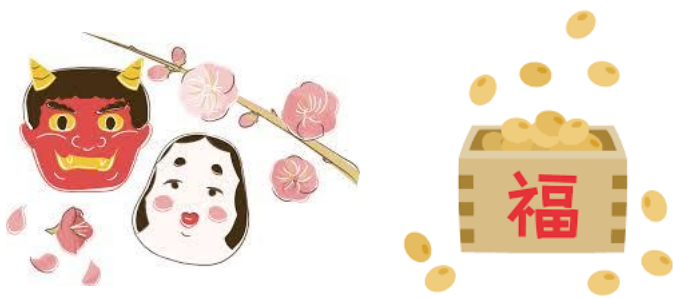


桜町の久保田さんです。  
白内障の手術で見えすぎて!

すでに3月、世界的にまたおおきな戦争が始まってしまいました。ひとの命が失われ、私たちの生活にも影響が出始めています。一日でも早く終結をと願う毎日です。

自然界でも人間社会でも変化が激しく“あらあら”と“オロオロ”して一日が過ぎていきます。私達の気持ちは無視され変化は続いています。物の溢れた日本、便利が当たり前の生活、ITが入り始めた生活を抗う事なく生きてゆくしかないのか? 私たちが出来ることは「おいなんよ」は模索しています。“継続は力なり”と古来から言われています。継続出来ますように皆さまお力添え下さい。

理事長 佐藤 敏子



「松島」の鬼です。とても食べられそうにありません。どの鬼が優しそう、強そうかな。でも美味しそう！



「まつお」の可愛い鬼たちの勢ぞろい！  
手前の3人さんは鬼の引き立て役です。↑



蒔いた豆をもったいないと拾って頂きました。



「さくらまち」の鬼退治です。皆の倅せがやってくるように祈りながら  
力いっぱい投げてる三人官女さんです。と、オマケの職員です。



↑「別家」に大きな鬼がやってきました。  
皆さんと一緒に張り紙した作品。ワオーと聞こえてきそう！！



「三日市場」の鬼！何か気の良い鬼のようです。  
豆を投げるご利用者さんの方が気合が入ってる！！



**編集後記** 年明けからスポーツファンにとっては嬉しい日々である。冬季五輪に始まり野球の WBC、パラリン、駅伝、マラソン、相撲と盛り沢山のメニューに TV から目を離せられない！しかし、チャンネルを変えれば悲しいニュースばかり。「イスラエルとパレスチナの悲劇の連鎖」続く戦争と「見えない壁」と「見える壁」世界は何処へ行くのか。平和な日本に戦争がない 80 年間を感謝するしかない。(い)